

食の現場が一番。  
熱量を持てる場。  
キュウリも柿も  
カッコいい農業に。

さとう ゆうじ  
佐藤 裕司 さん(30代)

<会津坂下町>

農家  
(農業)

2021年 Uターン

## 起業したい夢を叶えたUターン

『会津坂下町は越後街道の宿場町として栄えた町で、今でも商売人の町として活気があります。その町なかから少し外れて広がる風景は、一面の田んぼと畑です。ここは阿賀川(通称:大川)の恵により、土壌の質が良く農業に向いているため、昔から農業が盛んな町でもあるのです。』

会津坂下町で生まれ育ち、一度は関東に出た佐藤さん。起業したいという夢を新規就農で叶えました。そのきっかけ、会津坂下町で農業をすること、そして佐藤さんが叶えたいと思っている会津坂下町での目標など、会津坂下町のカフェにお伺いして取材しました。』

取材日 2023年1月6日

## Uターンのきっかけと農業のこと

### <移住のきっかけ>

昔からいつかは起業したいと思っていて、神奈川県を卒業し、都内に就職した時もその意識を持って働いていました。会津坂下町で生まれ育ったということもあると思うのですが、食に興味があり、銀座の飲食店で働いた時にはワインソムリエとSAKE DIPLOMAの資格を取得しました。味の違いがある分野は面白いです。

私の祖父なんですが、会津坂下町で身不知柿(みしらずかき)を栽培していました。年々手をかけられなくなっていく様子も見ていたためもったいないと思っていたのと、食で何かをしたいと思っていた時にコロナ禍になり、農業の道を模索しました。

会津坂下町ではキュウリ栽培に力を入れていて新規就農しやすいことと、祖父の持っていた柿の畑をなんとかしたくて2021年にUターンしました。

### <農業の仕事>

祖父は昨年秋、亡くなってしまったので、身不知柿の畑は私が管理しています。柿も大事なのですが、まずは私自身の農業を安定させるためキュウリ栽培を始めました。ハウスが5棟あるため、一人では大変な部分もあります。その時は先輩農家さんに教えてもらったり、忙しい時は助っ人をお願いしています。キュウリは成長が早く、収穫時期は早朝と夕方に採るので忙しいです。その収穫前に販路を作っておきたいと思いJAさんへの



出荷以外にも地元のスーパーに営業をして直接納めるルートを作りました。あとは自分でネット販売もしています。農業は大変ではありますが、飲食店にいた時のことを考えると、作られた食事を提供するのと自分で作ったものを提供するのでは大きく熱量が違います。

私の信念として努力しなくなったら終わりだと思っているので、今している全ての努力は身になる努力だと思います。



# 会津坂下町と農業の魅力

## <会津坂下町の魅力>

新規就農の相談をした時にも思ったのですが、会津坂下町の役場の方が親切に新規就農のサポートをしてくれて、いい役場だと思いました。ベテランのキュウリ農家さんでの研修も段取りしてくれて助かりました。

あと、冬の間は地元の豊国酒造で働いているのですが、会津坂下町にはカッコいい先輩がいっぱいいることに気づきました。自分の仕事に誇りを持っていて、面倒見が良くて、前向きに進んでいる人がたくさんいます。そういう人と若いうちから関わることで勉強

になりますし、目標にもなります。私のように起業したい人は若いうちから経営者にたくさん会うといいと思います。

こんな風にやる気のある人達なので、小さくても元気な会社がいっぱいあるのが坂下町の魅力だと思います。なので思っている以上に求人があります。田舎だと仕事がないと思っている方もいるかもしれませんが、会津坂下町は仕事を選ばなければ働く場所は結構あります。



カフェでの取材様子

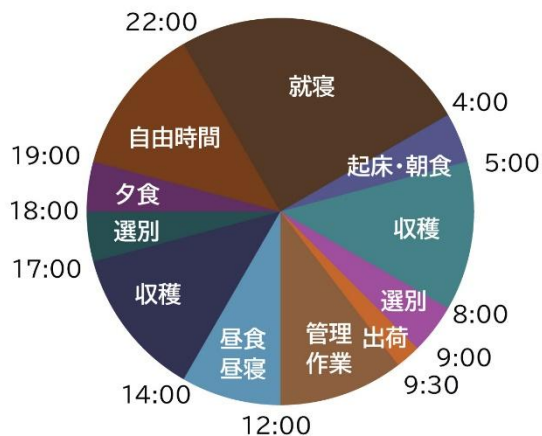
## <農業の魅力>

農業は大変な部分もありますが、魅力の多い職業だと思います。祖父から受け継いだ身不知柿ですが会津の特産品であり、私が一番好きな果物です。祖父の世代の農家さんでは後継者がいなくてそのままになっている畑も出ています。私がいることで、そのような身不知柿の木を1本でも救えたら、と思っています。キュウリ栽培で経営が軌道に乗ったら、やりたいことは身不知柿のブランド化です。このまま無くしたくないですし、美味しい身不知柿を会津坂下町の特産品にしていきたいと思っています。

こう思えるのも会津坂下町が農業に熱い町であり、若い農家さんがいるからだと思います。会津坂下町は農業にチャレンジするにはいい環境です。

私が思い描く農業の姿まで、自分なりに努力をしていくつもりです。

## ある一日のスケジュール



## 佐藤さんの行動歴

会津坂下町生まれ ⇒ 神奈川県(大学) ⇒ 東京都(就職) ⇒ 会津坂下町へ

## 移住を検討している方にアドバイス

会津には『会津の三泣き』という言葉があります。その言葉の通り優しい人ばかりです。是非会津へ！



おじいちゃんから受け継いだみしらす柿畑

**現住人口** 14,526人 男性/6,987人 女性/7,539人

**面積** 91.59平方キロメートル

**標高** 海拔 177.6m(会津坂下町役場)

**最寄駅** JR只見線「会津坂下駅」

**最寄IC** 磐越自動車道「会津坂下IC」

**保・幼・こ** 認可保育所 4か所 幼稚園 2園

**小学校数** 公立 2校

**中学校数** 公立 1校

**高校数** 公立 1校

**病院数** 病院 1か所 診療所 6か所 歯科 8か所

**町の特徴** 会津坂下町は、初市で行われる大俵引きを代表するような米処である。米に関連した酒蔵、麴屋も多くあり、商業の町としての顔も持つ。馬肉、そば、冷やしラーメンも有名である。阿賀川(通称:大川)を挟んで隣村になる湯川村と共同で運営している道の駅あいづ湯川・会津坂下があり、平日でも賑わっている。

**移住サポート窓口** 会津坂下町移住定住相談窓口 会津坂下町役場(政策財務課)  
会津坂下町ホームページ <https://www.town.aizubange.fukushima.jp>  
電話:iju@town.aizubange.fukushima.jp  
メール:0242-84-1504

